

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名 こどもサポート教室「きりり」センター南校

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---------|---|--|----|-----|---|--------------------------|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・パーティションを使用し、個々の活動空間を確保している。 ・利用者一人ひとりのニーズに応じた教室内の環境整備に努めている。 | |
| | ② | 職員の配置数は適切である | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・常勤職員 4 名、非常勤 1 名を配置している。 | |
| | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・視覚掲示物を有効活用し、活動の決まり事をイラストや記号、文字などで表し、一目見て理解できるように工夫している。 ・教室内に段差はなく、バリアフリーになっている。 | |
| | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・活動に不必要なものを遮断し、活動に集中できるように環境整備をしている。 | |
| 業務改善 | ⑤ | 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・日ごろから職員間の情報共有を密に行い、定期的な会議のみならず、随時行事の計画、事前準備、事後反省を行い、今後の業務改善に努めている。 | |
| | ⑥ | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者等に対して、毎年事業所評価を実施している。 ・保護者等からのご意見については、職員間で毎度情報共有を行い、今後の事業所運営に活かすための方法について話し合い、日々業務改善に努めている。 | |
| | ⑦ | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | ○ | | <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等を通じて、情報開示を行うとともに、教室内にアンケート結果を掲示し、保護者や利用者がいつでも見ることができるよう工夫している。 | |
| | ⑧ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・事業所改善につなげるため、今後行えるように努めていく。 | |
| | ⑨ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・発達研究所主催の研修、地区の指導員会義、事業所内研修、外部研修などを活用し、「支援の指導法」や「教材作成の工 | |

| | | | | | |
|----------|---|--|---|--|--|
| | | | | 夫」等について学習したり、日々の情報交換を行うことで、支援の質を高めていけるように努めている。 | |
| 適切な支援の提供 | ⑩ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・毎回の支援後のフィードバックや電話やメール等で日頃より保護者と連絡を密に取り合い、個々のニーズを把握できるように努めている。 ・また、家庭の様子、園や学校の様子の情報共有、今後の事業所での取り組み等を検討するために、定期的に保護者面談を行っている。 | |
| | ⑪ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | ○ | ・法人で定められたアセスメントシートを使用している。 | |
| | ⑫ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | ○ | ・基礎的なことば・理解・表現だけでなく、社会性育成のためのソーシャルスキルトレーニングや認知機能強化のための複数の活動を組み合わせて、工夫を凝らしている。 | |
| | ⑬ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | ○ | ・各個別支援計画が指導員に分かりやすく伝わるように添付・支持を工夫している | |
| | ⑭ | 活動プログラムの立案をチームで行っている | ○ | ・職員間で、日々情報交換を密に行い、共通理解を深めていくことで、支援プログラムの立案をチームで行っている。 | |
| | ⑮ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | ○ | ・ご利用者様の興味関心、気づき、季節の変化に合わせて、支援プログラムの立案をチームで行っている。 | |
| | ⑯ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している | ○ | ・職員間で、日々情報交換を密に行い、個別・小集団活動を組み合わせて複合型の個別支援計画を作成している。 | |
| | ⑰ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | ○ | ・前回の利用者の様子や取り組み内容を踏まえて支援を行うことができるように、職員間での打ち合わせを実施している。 | |
| | ⑱ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | ○ | ・支援終了後には、職員間での打ち合わせを必ず行い、情報共有をして、次回以降の支援に活かすことができるように努めている。 | |

| | | | | | | |
|--------------|---|---|---|---|--|--|
| | ⑱ | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | ○ | | ・日々の支援の記録を確実に 行い、職員間で情報共有が できるようにし、次回以降の 支援について、支援内容や 指導法の検証、改善につな げていけるように努めている。 | |
| | ⑲ | 定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | ○ | | ・現状での達成度や今後の課題 について、しっかり話し合い、 全職員参加体制でモニタリン グを定期的に行っている。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | ○ | | ・児発管だけでなく指導員でも 検討しチームとして、最もふ さわしい者が出席・参加でき るようにしている。 | |
| | ㉑ | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | ○ | | ・関係機関との連携をしながら の支援を提供している。 | |
| | ㉒ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | / | / | | |
| | ㉓ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | / | / | | |
| | ㉔ | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | ・ご希望に合わせて、必要な 利用者様については随時連携 している。 | |
| | ㉕ | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | ・ご希望に合わせて、必要な 利用者様については随時連携 できる体制を整えている。 | |
| | ㉖ | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | ○ | | ・ご希望に合わせて、必要な 利用者様については随時連携 できる体制を整えている。 | |
| | ㉗ | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | ○ | | ・ご希望に合わせて、必要な 利用者様については随時連携 している。 | |
| | ㉘ | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | ○ | | 区の連絡協議会に加盟し、管 理者・児童発達支援管理責任 者を中心に、会議等に参加す るようにしている。 | |
| | ㉙ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | | ・支援終了後には、職員間での 打ち合わせを必ず行い、情報 共有をして、次回以降の支援 に活かすことができるように 努めている。 | |

| | | | | | |
|------------|----|--|---|---|--|
| 保護者への説明責任等 | ③① | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・支援後のフィードバック時や保護者面談時などに、園や家庭等での様子について、情報共有を行い、児童の特性に合わせた声かけや視覚掲示物の有効的な活用方法について、保護者とともに検討していけるように努めている。 ・また、月に1回程度の、保護者様との面談を実施し、家族支援についての情報提供をしている | |
| | ③② | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・契約時に保護者に説明を行い、理解を得ている。 ・また、保護者が常時閲覧できるように、教室内に掲示している。 | |
| | ③③ | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・契約時、変更・更新時にニーズの確認、再アセスメントを元に説明し同意を得ている。 | |
| | ③④ | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・支援後のフィードバック時や保護者面談時などに、園や家庭等での様子について、情報共有を行っている。 | |
| | ③⑤ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に保護者向けの会を実施し、保護者同士の連携を支援できるように努めている。 ・また、講演会は通所での参加だけでなく、オンラインでの参加も募集し、新型コロナウイルス感染予防に努めている。 | |
| | ③⑥ | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・職員間で情報共有を行い、早期対応できるように努めている。 | |
| | ③⑦ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・教室内の掲示物の掲示、教室ブログの作成などを行い、支援の様子や事業所としての取り組みなどについて、利用者、保護者のみならず、外部に向けた情報も発信できるように努めている。 | |
| | ③⑧ | 個人情報の取扱いに十分注意している | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の個人情報書類に関しては、ファイルで管理した上で、施錠できる書庫での保管を徹底している。 | |

| | | | | | |
|---------|----|---|---|---|--|
| | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・また、机上整理に努め、個人情報紛失や漏洩がないように努めている。 | |
| | ③⑨ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・担当制での支援提供を行っていないため、毎回職員間で支援内容や利用者の様子などを引き継いでいる。 ・支援後のフィードバック時や保護者面談時での様子などを職員間で情報共有し、次回以降の支援に活かせるように努めている。 | |
| | ④⑩ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・前年度同様、新型コロナウイルス感染予防のため、事業所内行事に地域住民等を招待するのが困難なこともあったが、園や学校、他事業所訪問等を行い、地域に開かれた事業所運営に努めている。 ・今後、新型コロナウイルス感染対策を考慮し、安全な形で対応できるように検討していく。 | |
| 非常時等の対応 | ④① | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・事業所で防災訓練を実施し、緊急災害時に備えている。 ・防災計画を保護者の目に届く所に掲示するだけでなく、今後は、利用者や保護者が一目で見えて事業所の取り組みがわかるように、視覚掲示物を有効活用していく。 | |
| | ④② | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・事業所で防災訓練を実施し、緊急災害時に備えている。 | |
| | ④③ | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・契約時に必ず聞き取り、利用者の基本情報シートに記入をし、職員間で必ず情報共有を行っている。 | |
| | ④④ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・契約時に必ず聞き取り、利用者の基本情報シートに記入をし、職員間で必ず情報共有を行っている。 | |
| | ④⑤ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットがあった場合には、ヒヤリハット表に必ず記入をし、同じ内容でのヒヤリハットを起こさないように、今後の対策を職員全員で協議している | |

| | | | | |
|----|--|---|--|--|
| ④6 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・事業所内や法人全体での研修を受け、対応方法を学習している。 | |
| ④7 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・事業所内や法人全体での研修を受け、対応方法を学習している。 ・契約時、変更・更新時にニーズを確認し、再アセスメントを元に説明し同意を得るようにしている。 | |

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2022年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「きりり」センター南校

保護者等数（児童数）：33 回収数：25 割合：76%

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|----------|---|---|----|-----------|-----|-------|--|---|
| 環境・体制整備 | ① | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 24 | | | 1 | | |
| | ② | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 21 | 3 | | 1 | ・小集団時に足りないのでは？ | 対応が手薄になる活動や時間等を再検討し工夫改善に努めます。 |
| | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 23 | | | 2 | ・靴を脱ぐ・手を洗う・学ぶとそれぞれ区切られていて分かりやすい | 引き続き、わかりやすい環境整備・構造化を目指します。 |
| | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 25 | | | | ・とても清潔だと思う | |
| 適切な支援の提供 | ⑤ | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか | 23 | 2 | | | ・もう少し細か作成して欲しい。 ・長期で見ているため、親では気付かない分析などがあり、助かっている ・とても良い支援で、子どもも楽しめながらで助かる | 個別支援計画には短期、長期目標がありますがご要望やニーズに合わせた作成、わかりやすい説明ができるように努力、工夫致します。 |
| | ⑥ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 21 | 3 | | 1 | ・苦手な事・少し難しくてやがいのある事をプログラムにお願いしたら、その通りにしてくれて助かった | |
| | ⑦ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 23 | 2 | | | ・キッチンと子どもに合った支援計画だと思っている | |
| | ⑧ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか | 23 | 2 | | | ・ゲームやパズル等の工夫で（お子さんが）飽きづらくて良い | |

| | | | | | | | | |
|----------|---|--|----|----|---|---|--------------------------------|---|
| | ⑨ | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 13 | 5 | 2 | 5 | ・日中は幼稚園の為、わからない | |
| 保護者への説明等 | ⑩ | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 25 | | | | ・毎月書面で貰っている | |
| | ⑪ | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか | 25 | | | | | |
| | ⑫ | 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか | 10 | 10 | | 5 | ・保護者だけのプログラムが欲しい | 新型コロナウイルスに伴う感染予防活動のため上手く企画、開催が出来ませんでしたのオンラインを含めて準備、企画をして参ります。 |
| | ⑬ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 25 | | | | | |
| | ⑭ | 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 25 | | | | ・些細な事でも助言してくれると助かる | |
| | ⑮ | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 14 | 6 | 1 | 3 | ・月に一度、もしくは2~3か月に1度あると良いかな?とも思う | 新型コロナウイルスに伴う感染予防活動のため上手く企画、開催が出来ませんでしたのオンラインを含めて準備、企画をして参ります。 |
| | ⑯ | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか | 24 | | | | | |
| | ⑰ | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 24 | | | | | |
| | ⑱ | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか | 24 | | | | | |
| | ⑲ | 個人情報の取扱いに十分注意されているか | 24 | | | | | |
| 非常時等の対応 | ⑳ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか | 22 | 1 | | 1 | | |
| | ㉑ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 13 | 6 | 5 | 1 | ・オンライン支援が多かった為、訓練については分からない | 毎月1回の訓練を目標に職員間での訓練をしております。またご参加可能なご利用者、保護者 |

| | | | | | | | |
|-------------|---|------------------|----|--|--|--|--|
| | | | | | | | 様へのご参加もご案内で きるよう準備・工夫を致し ます。 |
| 満 足 度 | ② | 子どもは通所を楽しみにしているか | 24 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・「できた」という達成感を得られるよう で、とても楽しみにしている ・通う度に「早くきり り行こう！」って子ども が言って、楽しみに している | →今後も、通所支援、遠 隔支援ともに、利用者一 人ひとりの生活の自立に 向けて、自信を持って、自 分でできることを増やせる よう、支援内容の工夫を 図っていきます。 |
| | ③ | 事業所の支援に満足しているか | 24 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・急な体調不良や 予定変更にも対応 してくれて助かる ・すぐ満足に感じ る（指導員の優しく 丁寧な言葉遣い・ 支援などで） | →今後も、通所支援、遠 隔支援ともに、利用者一 人ひとりの生活の自立に 向けて、自信を持って、 自分でできることを増や せるよう、支援内容の工 夫を図っていきます。 |

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。